

# 歴史資源再開発委員会事業計画

委員長 山田 英貴  
副委員長 下鳥 剛  
副委員長 平原 健作  
幹事 片山 良博

## <基本方針>

この地域には誇るべき歴史資源が数多く点在しています。そして武士道精神の根幹ともいえるべき「義」を育んだ地域でもあります。しかし、最近ではその古き良き精神性の浸透と継承がうまく機能していない現状が見受けられます。今ここで、我々のルーツである歴史資源を再認識しなければなりません。ここに住む我々は歴史資源を通して、本来持ち合わせている「義の精神」を醸成し、それが息づくまちとして誇りを持ち、それを次世代へ伝承していくことが必要といえます。

取り組みとしては、わがまち上越の誇るべき歴史が育んだ義の精神を地域の方々に解り易く、興味を持って頂くための機会を設けて、地域の皆様にその精神の重要性を発信致します。そして高田開府400年に向けて行動して頂くために、まず自分達のルーツに触れ、その地域の魅力ある歴史を知って頂きます。またまちの歴史に触れる機会を作ることで、そこに住まう人々だけでなく周りの人たちにも、そのまちの歴史がここに宿るべく活動します。さらにその百年に一度のまたとない好機を捉え、市民の当事者意識を喚起しながら市民との協働事業を展開し、誇るべき歴史をもった我々の上越を広く発信致します。そして、上杉謙信公から続く精神性をお互いに共有する各地の同志との協働でそれぞれの地域の歴史を認識し、今後の交流においても基盤となる歴史的価値や歴史に育まれた精神性や道徳規範などを再確認し地域に波及します。また従来から実施されている歴史を再認識する機会に対する活動としては、会議体への参画や事業への協力を積極的に行い、歴史を活かしたまちづくりの一翼を担います。その結果として義の精神に基づいた共同体意識や相互信頼が生まれ、その精神が根付く確かな地域コミュニティの構築を図ります。

数多く点在するわが郷土の歴史資源を知ることで市民の歴史への関心が高まります。そして歴史を活かしたまちづくりが根付き、この地域をより広く内外に発信できるようになります。また歴史資源を通じた活動により、誇り高き精神性が醸成され、ホスピタリティー精神溢れる「義の都上越」となります。

## 委員会職務分掌<事業内容>

1. 地域の歴史を顕彰する事業
2. 6月担当例会の開催
3. (社)米沢青年会議所との交流事業
4. 上越地域における歴史関連事業の積極的参加及び協力
5. 歴史資源を活かした徳育事業の実施
6. 戦略的な会員拡大運動(会拡)の実践